

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第 55 回機能集積情報システム研究会

委員長 北神正人（千葉大）

本研究会は、ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模ICチップ上に集積・実装する情報システムFIIS（Functional Integrated Information System）の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、ICチップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレラント手法などがあげられます。また、ICチップ上の情報システム構築（SOC: System On Chip）技術としては、IC内部の欠陥検出法（テスト手法やBIST: Build In Self Test）や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などが挙げられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法も挙げられます。

本機能集積情報システム（FIIS）研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第55回機能集積情報システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

期日 平成26年10月24日（金）

会場 兵庫県立大学産学連携・研究推進機構（姫路市南駅前町123 じばさんびる3階）

一般申し込み締切：8月11日（月）

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

【申込・問合せ】

難波一輝（千葉大大学院融合科学研究科）

E-mail: namba@faculty.chiba-u.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

●第5回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 新津善弘（芝浦工大）

研究会の内容

ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成26年10月31日（金）

会場 東京大学情報基盤センタ（文京区）

テーマ：OSSを活用するネットワークソフトウェア開発＋一般

概要

インターネットを通じ、多数の開発者が参加・協力してソフトウェアを改善、発展させていくオープンソースという概念が登場して久しい。開発サイクルの短期化、コストの削減が要求されるネットワークソフトウェア分野でも、SDN（Software Defined Network）プラットフォームを開発するOpenDaylight Project、クラウドコンピューティングのインフラ基盤やネットワークを稼働させるデータセンタをオープンソース化するOpen Compute Projectをはじめとして様々なOSSプロジェクトが活動しており、オープンソースソフトウェアを利用してシステムを構築することは、半ば不可欠ともいえる状況になっています。

その一方で、OSSの活用には、品質の見極め、サポート不足、対応できる技術者不足等、従来の開発には見られなかった課題も指摘されています。最近では、オープン概念はソースコードに留まらず、オープンデータ、オープンコンテンツのようにオープン化する対象をより広範囲にする傾向が強まっています。

本研究会では、このような状況の中、ネットワークソフトウェアに関し、OSSを活用する新たなソフトウェア開発

手法及び開発管理技術について議論致します。

例えば、

- ・OSSを活用したネットワークソフトウェア開発の現状分析、リスクや解決方法の提案
- ・ネットワークソフトウェア開発におけるOSS活用方法や開発管理技術に関する提案
- ・その他一般。

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります。是非活発な議論をお願い致します。

**【発表形式】** 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け

1件当たり標準で50分。発表者からのプレゼンテーションは20～25分とし、残りの時間を質疑応答に割り当てることで、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

- ・ポジションペーパー：構想段階等にて意見を収集したい方向け

1件当たり約5～15分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

**【各種締切】**

一般講演申込み：10月1日（水）

一般講演原稿提出：10月8日（水）

ポジションペーパー申込み：10月8日（水）

研究会参加申込み：10月8日（水）

参加費振り込み：10月22日（水）

**【一般講演の申込と原稿提出】**

- ・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要（400字程度）、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、講演者の方の参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込みもされたものとみなしますので、下記参加申込みに関する注意事項も合わせて御確認下さい。

- ・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。PDFファイルは全てのフォントを埋め込んで作成して下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当たり1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当たり2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。

**【ポジションペーパーの申込と原稿提出】**

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル（A4判1枚・様式自由）にて、電子メールでお送り下さい。

※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問い合わせ下さい。また期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

**【参加申込】**

氏名、所属、連絡先（住所、E-mailアドレス、電話番号）、参加費種別（一般／学生）を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mailアドレスを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

**【参加費（予定）と参加費支払方法】**

一般 7,000円 学生 3,000円

参加費を期日までに下記口座へお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

〈振込先口座〉

銀行名：みずほ銀行 支店名：三鷹支店

口座名：ネットワークソフトウェア研究会

口座番号：普通 4298770

**【予稿集の事前配布】**

講演内容の理解促進及び質疑応答の更なる充実を目的に、希望する参加者の方へ予稿集を事前配布（郵送）します。事前配布を希望される方は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。なお、期日までに参加費を振り込むことが事前配布の条件となりますので、御了承下さい。

**【講演・参加申込先・原稿提出先】**

北野雄大（NTT）

〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11

TEL〔0422〕 59-3890

E-mail：ns-nws-kanji@mail.ieice.org

**【研究会全般に関する問合せ先】**

奥谷武則（NTT）

TEL〔0422〕 59-3805

主催 ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会運営委員会

<http://www.ieice.org/~nws/>